

横浜環状北線のHPをリニューアルします！

横浜環状北線のホームページを、皆様にとってより興味ある内容、より使いやすいものとするために2月からリニューアルします。

【新しいホームページの構成】

・横浜環状北線の概要
北線の計画概要等について説明します。動画による説明もご覧になることができます。

・「きたせんNOW」
北線の各地区ごとの工事進捗状況について、写真等を用いてお知らせしていきます。シールドマシンの現在位置についてもお知らせします。

・「地域・近隣にお住まいの皆様へ」
近隣の皆様からよく聞かれるご質問等について、できるだけわかりやすくご説明いたします。広報紙「きたせん」もご覧になることができます。

切り取り線

アンケートハガキ

※個人情報保護法に基づき個人情報を適正に管理致します。

- プレゼント希望(どちらか一つにチェックしてください)
- A ヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテル イタリア料理「ラヴェラ」のランチbuffet券
 - B 横浜ベイブリッジのQUOカード

お名前

□□□□□□

ご住所

電話番号

今号で興味深かった記事はどれですか？(複数選択可)

- 表紙 きたせん TOPICS 現場訪問 シールドマシン掘進状況
- お知らせ 横浜緑道ウォーキング Interview 横浜夢追い人
- 首都高 NEWS

今号であまり興味がなかった記事はどれですか？(複数選択可)

- 表紙 きたせん TOPICS 現場訪問 シールドマシン掘進状況
- お知らせ 横浜緑道ウォーキング Interview 横浜夢追い人
- 首都高 NEWS

■今後、広報紙「きたせん」で取り上げてほしい記事をお書きください

■その他、ご意見・ご感想等ございましたらご自由にお書きください

ご協力ありがとうございました。

ここから、自然との調和がはじまる。

きたせん

横浜環状北線

平成23年1月発行 Vol.24 WINTER

◆きたせん TOPICS 生麦事件碑の仮移設工事を行いました。



2機のシールドマシンは
順調に掘り進んでいます！

- ◆現場訪問 岸谷生麦線トンネル工事現場
- ◆シールドマシンは今、ここに！
シールドマシン掘進状況
- ◆“きた川柳”歩いて笑って五七五 横浜緑道ウォーキング
- ◆Interview 横浜夢追い人 内田勝人さん
- ◆首都高 NEWS 横浜環状北線のHPをリニューアルします！

今回のきたせんTOPICSは
町田聖子ちゃん(左)と町田聖子ちゃん(右)。



新しい横浜環状北線ホームページのトップ画面



新しく設けられる「きたせんNOW」

※画面は今後、変わる場合があります。

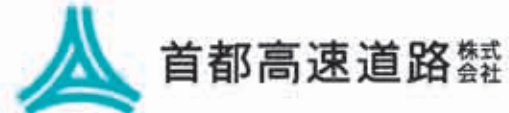
お問い合わせ先

首都高速道路株式会社
神奈川建設局
(調査・環境グループ)



TEL 045-439-0731

〒221-0013 横浜市神奈川区新子安1-2-4
(オルトヨコハマ・ビジネスセンター3階)



<http://www.yokokan-kita.com>

広報紙「きたせん」のバックナンバーはホームページからダウンロードできます。

きたせん 検索

「きたせん」ウェブ版もぜひご覧ください。

歴史的意義を後世に残そうと事件碑を建立

生麦事件をご存知でしょうか。明治維新への扉を開ききつかけの一つとなった事件として語り継がれている、幕末のできごとです。

その事件碑が鶴見区生麦一丁目の旧東海道沿いに建立されたのは、事件から約20年たった明治16年(1883年)のことでした。建立したのは、後に明治から昭和初期にかけて、地域の文化人として活躍した、鶴見村(現横浜市鶴見区)在住の黒川莊三氏。少年時代に目撃した事件が風化されそうになっていることを知った彼は、その事件と歴史的意義を後世に残そうと、私費を投じて事件碑を建立し、異国の地で非業の死を遂げた英国人リチャードソンの死を悼みました。この事件は、生麦の人たちの心の隅でも気の毒なできごとだったことから、協力して記念祭を開催しました。

昭和37年(1962年)の100年祭には地元町会が集まり「生麦事件顕彰会」を発足。以後、昭和47年から毎年記念祭が行われています。

横浜市にとっても重要な文化遺産

「生麦事件顕彰会」では、毎年、事件のあった8月21日の午前中に山手の外国人墓地にあるリチャードソンの墓に献花し、事件発生時刻である午後2時より事件碑の前で、日英両国旗を立てて四隅を清め、記念祭を行っています。事件碑は、昭和63年に横浜市の地域文化財に登録されました(「生麦事件顕彰会」青木会長)

今では生麦の人たちだけでなく、横浜市にとっても重要な文化財となっている生麦事件碑。首都高速では、北線の高架道路が生麦事件碑の上を通過するため、工事の間中は仮移設することとし、12月8日に始められた仮移設工事は、12月25日に無事終了しました。

「平成24年は150年祭の年。今回スムーズに仮移設ができ、安心していきます」(青木会長) 生麦事件碑は現在、元の場所から東へ200mほどの旧東海道沿いの一画に仮移設されています。北線の工事完了後は、再び旧東海道と国道15号との交差点付近へ戻ってくる予定です。

生麦事件碑の仮移設工事をを行いました。

首都高速では横浜環状北線建設工事のため、横浜市地域文化財に登録されている「生麦事件碑」を近くの移転地に仮移設しました。



生麦事件とは…… 文久2年(1862年)8月21日、薩摩藩・島津久光の一行が江戸からの帰国途中、武州生麦村(現横浜市鶴見区)を通過の際、川崎大師へ見物に行く途中の英国商人リチャードソンら4人に遭遇。列を乱したとして起きた殺傷事件。幕末の混乱期、イギリスの要求通り幕府は賠償金を支払うが、薩摩藩は応じなかったことで事態は薩英戦争へと発展。これを機に、薩摩藩は攘夷から開国へと考えを転換。時流は一気に尊王倒幕から明治維新へと向かっていきました。

仮移設された生麦事件碑

12月25日、元の場所から徒歩2分ほどの旧東海道沿いに仮移設された生麦事件碑。



関係者を集めて行われた仮移設式典



仮移設式典には生麦事件顕彰会の皆さんをはじめ、首都高速関係者、建設会社関係者ら20余名が参加しました。



生麦事件顕彰会の皆さんたち。現在、近くの5町会の会長さんを含む地元の方々によって顕彰会が構成されています。

平成22年8月の記念祭



毎年盛夏の中で行われている記念祭。午前中に山手の外国人墓地で献花した後、午後2時から催されています。

事件を風化させることなく、平成24年の150年記念祭に向け準備を進めていきたいですね。

生麦事件顕彰会会長 青木義雄さん



なぜ今日まで、私たち生麦事件顕彰会が中心となってこの事件を風化させまいと守り続けているかというと、生麦事件は近代国家成立の発端になっているからなのです。事件そのものは大変不幸なものでしたが、もしも生麦事件が起きていなければ、日本の近代化は確実に遅れていたことでしょう。犠牲者の死を悼むとともに、黒川莊三の遺志である生麦事件の歴史的意義をきちんと後世に伝え残したいと思っています。



昭和37年、100年祭のときの写真 (提供: 生麦事件参考館)

150周年を迎える平成24年の記念祭にむけて準備を進めていきたいですね。

行ってみませんか 生麦事件参考館

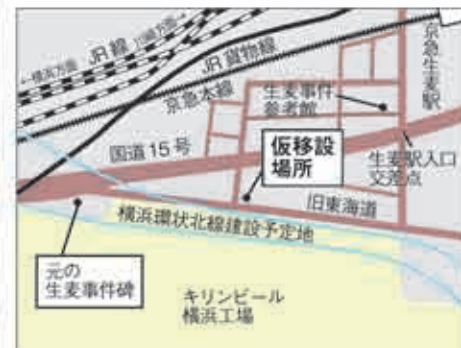
生麦事件顕彰会の参与で、生麦事件参考館館長の浅海武夫さん。平成6年に私費を投じて、自宅内に同館を建設しました。浅海さんが生麦事件に興味を持ったのは約30年前。こつこつと、集めた史料は1000点以上。作家の吉村昭もここに通り、小説「生麦事件」を発表したそうです。事件碑を訪ねた際には、生麦事件参考館へも足を伸ばしてみたいですね。



浅海館長の解説は歯切れがよく、講義を聞いているかのようです。



住所 横浜市鶴見区生麦 1-11-20
TEL 045-503-3710
料金 無料
※訪問希望者は要予約





シールドマシンは今、ここに！



北線の2機のシールドマシンを応援する「きたせん」インズ。



シールドマシン掘削状況（1月現在）。

シールドマシンは今、ここ！
シールドマシンは、今、ここ！
2機のシールドマシンは新横浜立坑をスタートし、5.5kmのトンネル掘削を開始しました。今後、2機のシールドマシンの掘削状況を本誌にてお知らせしていきます。

シールドマシンは現在、初期掘進を順調に行っています。1月末現在で、ナッピー号、コッピー号ともに発進立坑から約50mを掘り進んでいます。

なお、横浜環状北線ホームページリニューアル（P8参照）は、ホームページでも継続的にお知らせしていく予定です。

横浜環状北線ホームページ
<http://www.yokokan-kita.com>

お知らせ

生麦工事事務所を新設しました。

今後の北線工事本格化に対応するため、神奈川建設局の工事監督体制を拡充し、このたび、生麦工事事務所を新設しました。

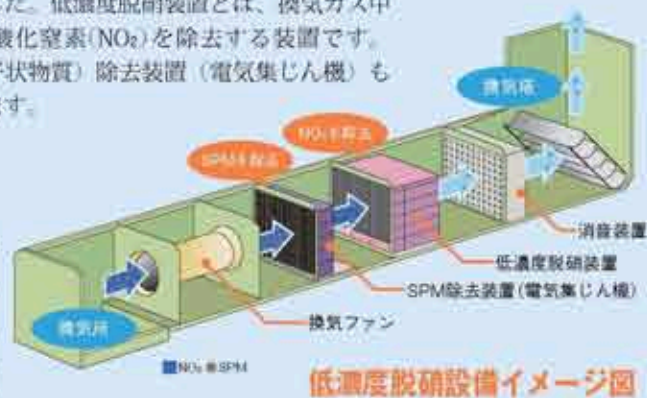
北線の工事現場を監督する横浜工事事務所と生麦工事事務所の所掌区分は以下のとおりです。

工事事務所の所掌区分	
横浜工事事務所	港北IC～子安台換気所（換気所は生麦工事事務所）
生麦工事事務所	子安台換気所～生麦JCT及び岸谷生麦線

北線の3換気所への低濃度脱硝装置導入が決まりました。

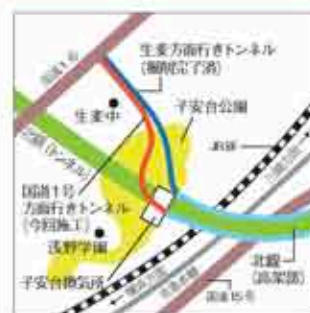
北線の3つの換気所に低濃度脱硝装置を導入することが決まりました。低濃度脱硝装置とは、換気ガスに含まれる二酸化窒素（NO₂）を除去する装置です。SPM（浮遊粒子状物質）除去装置（電気集じん機）も併せて設置します。

電気集じん機、低濃度脱硝装置により、トンネル内の空気に含まれるSPM、二酸化窒素（NO₂）は効率よく除去されます。



低濃度脱硝設備イメージ図

現場訪問 岸谷生麦線トンネル工事現場



岸谷生麦線（国道1号方面行き）トンネルの掘削を開始しました。

昨年末に開始した岸谷生麦線（国道1号方面行き）トンネル工事。周辺環境に十分配慮しながら進めています。

案内役
首都高速道路（株）
神奈川建設局
生麦工事事務所
西岡友樹



国道1号側坑口。左は平成19年に掘削が完了した生麦方面行きトンネル。12月に設置された「防音ハウス」は幅18.5m×高さ10m×奥行き20m。防音材（グラスウール）の厚さは10cmで、数高品質のものが使われています。



岸谷生麦線は、鶴見区岸谷二丁目の国道1号と鶴見区生麦三丁目の東京大師横浜線（産業道路）とをつなぐ延長約1230mの道路で、このうち国道1号から子安台公園までは「生麦方面行きトンネル」「国道1号方面行きトンネル」の2本のトンネル構造と

今回ご紹介するのは2本目のトンネルである「国道1号方面行きトンネル」の工事です。延長278mのトンネル工事はNATM（ナトム）と呼ばれる工法で施工します。また、トンネル掘削に伴う地

なります。

2本のトンネルのうち生麦方面行きトンネルは、平成16年7月に工事着手、平成19年8月に掘削を完了し、現在、工事用道路として使用しています。



「防音ハウス」が設置される前の国道1号側坑口。

盤変形や地表面の沈下抑制を図るため、掘削面や周辺地盤の補強も同時に行い、安全と安心を確実にしています。また、昨年12月にトンネル工事に先立ってトンネル坑口となる箇所に、工事の音が外に漏れないよう「防音ハウス」を設置しました。この防音ハウスは生麦方面行きトンネル工事の際も設置しましたが、今回はさらに構築するトンネル坑口付近に「防音扉」をプラスし、より騒音抑制を強化。現場内を往来するトラックは排出ガス基準に適合した車両を使用。その他建設機械も低騒音・低振動のものを採用し、周辺環境に十分配慮しながら工事を進めていきます。

「きたせん」用請取
工事苑
NATM工法
ナトム工法
ナトム工法とは（New Austrian Tunneling Method）の略。トンネルを掘り進めながら、壁面にコンクリートを吹き付けることにより周辺の地盤を補強し、その内側に鉄筋コンクリートの壁をつくる工法のこと。地震が本来持っている力を有効利用するトンネル工法で、経済的で安全な施工が可能です。



環境保全に配慮して、工事では排出ガス基準に適合した車両が使われています。



横浜 夢 追い 人



(上)デザイン定義はない横浜家具。常に新しいものを提案。(下)完成までひとりの職人が仕上げる。大きささまざまな鉋。

約150年前、横浜開港とともに元町界隈に居住した西洋人。彼らを持ち込んだ洋家具から横浜家具は誕生しました。当時の日本には家具づくりの技術がなかったため、宮大工や建具の職人が請負い、製法は日本式。地下足袋を履き、足の指で材料をつかんで、100以上のもの鉋を使い分けて作業をする。こうした作業は精巧な仕事に繋がりが、西欧人にも高く評価されたそうです。「今も当時の技術が受け継がれていますが、デザインは時代にそくしたものを提案しています」と内田さん。横浜家具の大きな特徴は、長

1点1点丹精込めてひとりの職人がつくり上げる横浜家具には、子から孫へと受け継がれてほしいという職人の夢も託されています。

く使えるように修理しやすくつくること。例えば木の組み立ては、主にはほぞ(木を凹凸に切る)で繋ぎます。1本の木が家具の材料に育つには約80年かかるといわれますから、横浜家具づくりの姿勢は自然を守るサイクルにも合致しているといえます。長く使い続けてもらうには、修理する職人の存在が不可欠。内田さんは後継者づくりにも力を注いでいます。横浜市の後援で、将来家具職人を目指す方を対象に、家具づくりの講習も行っています。



世代を超えて愛される家具づくりを目指し、職人の育成や横浜家具のPRにも力を注ぐ内田さん。

明治の職人がつくり出した「横浜家具」。その伝統の技術を守り伝えていきます

「華華草元町工房」代表 内田勝人さん

“きた川柳”歩いて笑って五七五 横浜緑道ウォーキング

第2回 三ツ沢せせらぎ緑道 (神奈川区)

自然がそのまま残されている三ツ沢せせらぎ緑道。小学校の生徒さん、隣接する商店街、散策する人々。「裾を縫うせせらぎしかと人を寄せ」。多くの人に愛されていることを実感しました。



豊岡寺の今井満良住職も、この緑道のファン。「散歩道で毎日のように利用していますが、木々が多いので季節を感じさせてくれます」と。



三ツ沢商店会の高橋会長。商店街のセール日は、毎月第2・第4土曜日、1日・16日です。



蕎麦のやぶ光の人気メニューはAセット(1100円)。天井とざるの両方がいただけます。

「緑道の明日を見守る五万冊」。お話をうかがった田中会長の書斎は、まるで図書館そのものでした。

生活科の授業でザリガニ釣りをする三ツ沢小の子どもたち。小学校では地域で行う緑道の清掃にも全校児童で参加。佐藤校長のホタルの話にも感動しました。「学び舎に血を脈々と流すの灯」。

昭和63年に完成した三ツ沢せせらぎ緑道は、緑道の中でも最も初期のものだそうです。

松月堂の店主・藤沢光昭さん。定番のバターどら焼きもおいしかったです。

緑道に残る河童の名と背中

一泉



緑道ウォーカー 尾藤一泉 (びとういっせん) 祖父・三笠、父・三浦と3代続く川柳作家。川柳「さくらぎ」主宰。横浜では東急セミナーBE青葉台で、川柳教室の講師を務める。

横

浜市営地下鉄「三ツ沢上町駅」から「三ツ沢下町駅」付近にかけてを結ぶ約1.7kmの三ツ沢せせらぎ緑道。背後に広大な豊顕寺市民の森が控えるこの緑道には、斜面の雑木林が自然のままに残されています。

早雲の大志 大棟の三ツ緑

まずは、森の中の寺・豊顕寺へ。本堂の屋根には、北条氏ゆかりの三ツ鱗の紋。江戸時代、ここに学舎5棟、学寮25棟、300人を下らないう生徒がいたそうです。

いにしへの川床にある子の笑顔

緑道を歩いていると、突然、弾けるような声。声の主は、緑道沿いにある三ツ沢小学校の子どもたち。後で訪ねてわかったのですが、小学校では授業でも緑道を教室代わりに使っているほか、校内の施設ではせせらぎから汲んだ水でホタルの人工飼育も行っていました。

童心を自然へ開く水と樹々

緑道を案内してくださったのは、三ツ沢せせらぎ緑道水辺愛護会会長の田中政一さん。せせらぎには昔から有名な河童伝説があり、代々子どもたちに水の大切さを語り継いできたのだとか。冒頭の句は、それを詠んだものです。

三ツ沢の四季を彩る菓子の腕

緑道と並行して連なる三ツ沢商店街。昭和29年創業の和菓子店松月堂の名物は、季節の上生菓子。中でも緑道をイメージした「沢辺のホタル」は人気とか。今年の夏は、菓子を手にホタルの観賞会。楽しみが一つできました。

読者プレゼント

A. ヨコハマ グランドインターコンチネンタル ホテル イタリア料理「ラヴェラ」のランチbuffet券 (ペアで2組)

B. 横浜ベイブリッジのQUOカード (500円) (10名様)

■応募方法 PBのアンケートにお答えの上、点線で切り取って切手を貼らずにポストに投函してください。応募の締め切りは平成23年2月28日まで。当選は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

■表紙の写真 2010年大倉山観梅会写真コンクール(港北観光協会主催)銅賞受賞作品。田端邦宏さん(横浜市在住)撮影。

郵便はがき 221-8790

神奈川県横浜市神奈川区新子安1-2-4 オルトヨコハマ・ビジネスセンター3階

首都高速道路株式会社 環境グループ

「かんたん」チケット発行

このホームページからのダウンロード版ではご応募できません

